

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-2 地域生活交通の確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 交通対策課長 伊藤 宏 電話番号 0852-22-5898

| | | |
|---------|---|---------------------------|
| 事務事業の名称 | 一畑電車運行維持事業 | |
| 目的 | (1) 対象 | 一畑電車を利用する県民等 |
| | (2) 意図 | 生活交通機関として、一畑電車の安全運行の維持を図る |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 安全かつ円滑な運行を維持するために、一畑電車に対して、一畑電車沿線地域対策協議会を通じて、基盤整備（線路・電路・車両）の維持・修繕・更新費や、安全輸送設備等の整備費を助成する。 利用者数の増加を図るため、一畑電車沿線地域対策協議会に対して事業費を負担する。 | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 一畑電車の年間利用客数 | 年度 | | | | | 単位 |
|------------|-------------------|-------------|--------|--------|--------|--------|------|----|
| | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | |
| 式・定義 | 一畑電車の運行維持に必要な利用客数 | 実績値 | 137.00 | 139.00 | 161.00 | 143.00 | | 万人 |
| | | 達成率 | | 99.30 | 115.00 | 102.20 | | % |
| | | 目標値 | | 0.00 | 0.00 | | | |
| 式・定義 | 一畑電車の運行維持に必要な利用客数 | 実績値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | |
| | | 達成率 | | 0.00 | 0.00 | | | % |
| | | 目標値 | | | | | | |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|---------|---------|
| 事業費(b) (千円) | 324,452 | 270,238 |
| うち一般財源(千円) | 324,452 | 270,238 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成23年3月に、一畑電車沿線地域公共交通総合連携計画（以下「一畑電車連携計画」という。）を策定し、事業者である一畑電車及び沿線自治体（松江市、出雲市、島根県）で利用者の増加を図るための各種施策を実施している。また、平成23年7月に、老朽化した施設整備を計画的に進め、一畑電車の安全性及び利便性の向上を図るため、一畑電車支援計画（H23～H27年度）を策定し、計画的に施設整備を実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 老朽化していた施設の整備が進み安全性が向上した。
- パークアンドライドのPRやイベント列車のPRにより利用者数の目標である140万人を維持できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 観光等での利用者（定期外）は増加しているが、日常生活における利用者（通勤通学定期）は減少傾向にある。
- 老朽化が著しい車両の更新が遅れている。

②困っている状況が発生している「原因」

- 沿線の人口減少や、自家用車利用の増加などにより、中長期的には利用者が減少傾向にある。

③原因を解消するための「課題」

- 他の地域公共交通機関と連携しながら、自動車を運転できない高齢者や生徒の利用促進を図る。
- 車両更新に必要な予算を確保していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 県、出雲市、松江市、一畑電車が連携して、次期5か年の（H28～32年度）の一畑電車支援計画の策定を行うとともに、電車の更新など支援計画が着実に実施されるよう国への予算要望を実施していく。
- まちづくり計画や他の交通機関と連携して利用計画を策定し、通勤・通学利用者、観光客などの利用促進の取り組みを積極的に進めていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）